

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 8日

中施策事業名	物品の出納保管事務	部課名	会計管理者・出納室
		作成者	近藤 恒明
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市職員		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	共通消耗品を増やすことで、各課の支払事務が減っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 共通消耗品の出納及び保管 ・ 現金の出納及び保管 ・ 県証紙の販売及び保管		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
払出回数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	120	120	120	120	0	0
	実績値	111	117				
単位	回						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 共通消耗品の払出回数は大きな変化なく推移しているが、各課での購入とすると、細分化され庁内の支払い事務の総件数は間違いなく増大する。 また一括発注の見込みにより価格を抑制できる効果も期待できる。 以上のことから直接購入費及び支払い事務に係る人件費の削減に寄与できていると分析できる。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	今年10月から指定金融機関の支払いに係る振込手数料が発生することになるので、一括購入による支払い件数の低減につながる事業であり継続すべきである。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	共通消耗品目の選定を継続していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等